

湘南フォーラム

地域経済キャッシュレス化推進事業

久保田 聡 議員

問 本市のキャッシュレス化推進事業について、3つのカテゴリーの実績を伺う。

副市長 スターライトポイントとは、令和2年度がプレミアム率30%で約15億2千万円、3年度がプレミアム率20%で約9億2千万円、4年度がプレミアム率20%で約7億円を発行した。スターライトマネーは3年度は還元を行わず約1億3千万円、4年度は還元率3%とし、年度の途中に市民限

問 チャージのしやすさも利用促進に向けては重要である。ほかのキャッシュレス事業のように、携帯払いやATMチャージなど、幅広い方法を検討する必要があるかと考えるが見解を伺う。

産業振興部長 チャージ方法の多様化は重要だと認識しているが、開発や管理コストがかかるため、費用対効果を見極め、導入については慎重に検討していく。

問 地域外に向けた施策展開について見解を伺う。

産業振興部長 5年度春に開業予定の大型商業施設には、県外からも多くの利用が見込まれるため、そこでの利用を打診中である。商業施設の利用者が、駅周辺にも訪れてもらえるような仕掛けを研究していきたい。

幼保小の架け橋プログラムの実施

架け橋プログラムの調査研究に向けた令和4年度の取り組みと、5年度の計画を伺う。

学校教育部長 4年度は幼保小連携の推進事業として、松が丘小学校に研究委託をし、「就学前と小学校の接続を意識した取り組み（架け橋プログラム）」をテーマに、しらすぎ保育園との連携を幼・保・小・中連携学習研究会で提案発表し、研究協議を行った。5年度も同様に研究委託をし、提案発表を行う予定である。また「幼保小連携調査研究部会」を立ち上げ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続や幼保小の架け橋

期のカリキュラム開発などに関する調査・研究を行っている。

路上喫煙禁止区域内での喫煙対策

問 本市の条例では罰金や罰則なども定められているが今まで実績はない。ソフ

ト面の対策として指導のほかに、更なる強化が必要と考えるが見解を伺う。

環境部長 指導啓発や勧告などを通じて条例を遵守するよう指導しており、できるだけ区域内の喫煙がなくなるよう啓発や喫煙者に対する指導に努めていく。

学校教育について

問 「環境教育」や「道徳教育」などの義務教育課程での成果を伺う。

学校教育部長 外国語活動や、外国語科の設置により、年間標準授業時数が増えた。各学校では児童生徒の過重負担にならないよう創意工夫を重ね、義務教育課程の中で成果を得られるよう努めている。

選ばれるひらつかを目指して



府川 正明 議員

活力維持で特性活かせ

問 選ばれるまちであり続けるために、少子高齢化の進行や人口減少を見据えた地域の魅力や特性のブランド化への取り組みを伺う。

市長室長 湘南エリアの転入者が増加傾向にある現状を好機と捉え、さまざまな魅力を発信し、交流人口の増加につなげていく。

問 いじめや不登校の未然防止への取り組みを伺う。

湘南フォーラム 所属 議員

小泉 春雄 議員 **出村 光 議員**

公明ひらつか

市民を守る安全対策について

上野 仁志 議員

問 路面下管理状況の把握と、今後の課題を伺う。

防災・危機管理監 「平塚市幹線道路等舗装維持管理計画」に基づき空洞探査車による路面下調査を行っている。調査を継続することによって空洞の把握ができて、補修などが可能となるが、空洞の原因が判明しない場合があることが課題である。

問 地下情報見える化に対する本市の見解を伺う。

防災・危機管理監 上下水道など埋設管の位置を3次元で表示する技術があることは認識している。精度は高いが現地調査や解析時間を要し、調査費用も高額なことが課題であり他市の事例を参考に研究していく。

問 街路灯への蓄電池の設置に対する考えを伺う。

防災・危機管理監 東海道

線以南の避難ビルに指定されている小・中学校と高校の入口付近の防犯街路灯に設置している。現在、ほかの街路灯への設置計画はないが、他市の状況を調査し検討していく。

問 指定避難所56か所に水平展開してはどうか。

防災・危機管理監 令和4年度に25メートル間隔にする安全対策は行っているが、今後クラスBを確保できるように努めていく。

問 自動運転バスの導入など、新たな公共交通に対する考えを伺う。

交通政策担当部長 自動運転バスは運転手不足の解消や、路線の維持に寄与する。デジタル化を進め、利便性向上につなげたい。

問 防犯街路灯の明るさに公益社団法人日本防犯設備協会の定めるクラスB以上

を基準化している自治体もあるが本市の考えを伺う。

交通政策担当部長 自動運転バスは運転手不足の解消や、路線の維持に寄与する。デジタル化を進め、利便性向上につなげたい。

問 バス利用者の待機場所としてコンビニを活用する考えを伺う。

交通政策担当部長 自動運転バスは運転手不足の解消や、路線の維持に寄与する。デジタル化を進め、利便性向上につなげたい。

問 バス利用者の待機場所としてコンビニを活用する考えを伺う。

インターネット中継

会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。

めている。

ヤングケアラー

問 認知度向上に対する取り組みを伺う。

健康・こども部長 国では令和4年度から6年度を認知度向上の「集中取組期間」とし、動画配信などを行っている。本市では動画配信と併せて認知度向上を図る資料などをホームページに掲載している。